



# OnTime® GROUP CALENDAR

for Domino

インストールマニュアル (Ver.7.5.0-) クイック & ステップ バイ ステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop 2020/07/22



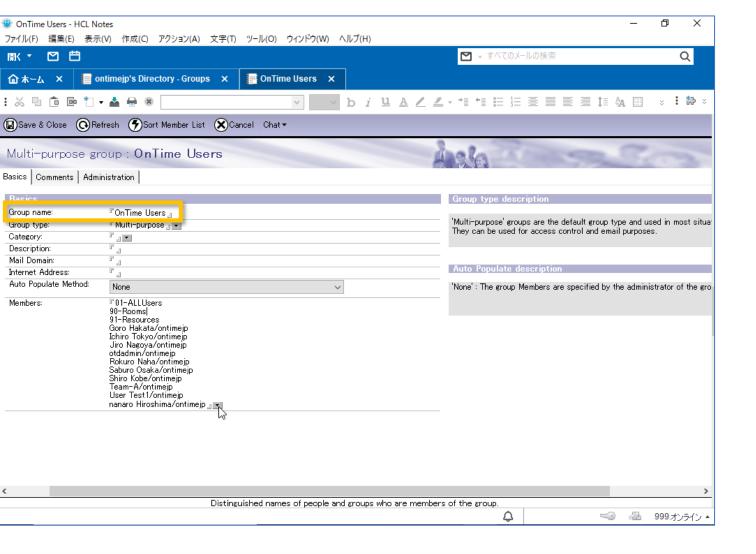
# 目次



•	予めグループ文書の作成	p.3	•	メール同期前のConfigDBの Users文書を確認	p.32
•	OnTime用にサーバー文書を変更	p.4		メール同期前のDataDBの	μ.32
•	メールサーバーのサーバー文書を変更	p.6		Calendars文書を確認	p.33
•	ダウンロードしたプログラムのzipを展開します	p.7	•	OnTimeGCタスクと サーブレットのインストール	p.34
•	Dominoデータフォルダにテンプレートを配置	p.8	•	スケジュール同期コマンドを実行	p.34 p.40
•	テンプレートをサーバーIDで署名します	p.11		「Admin」コマンドの再実行	p. 10 p.44
•	OnTime ConfigDBを新規作成します	p.17		ブラウザからOnTimeクライアントを起動	р.45
•	製品をアクティベーションします	p.19	•	NotesからOnTimeクライアントを起動	p.48
•	GlobalSettings文書の初期設定を行う	p.24	•	デフォルト設定を準備	p.51
•	ServerSettings文書を作成します	p.27	•	予定を操作して最終確認	p.55
		1	•	引き続き各種設定も行ってください	p.59



#### 予めグループ文書の作成



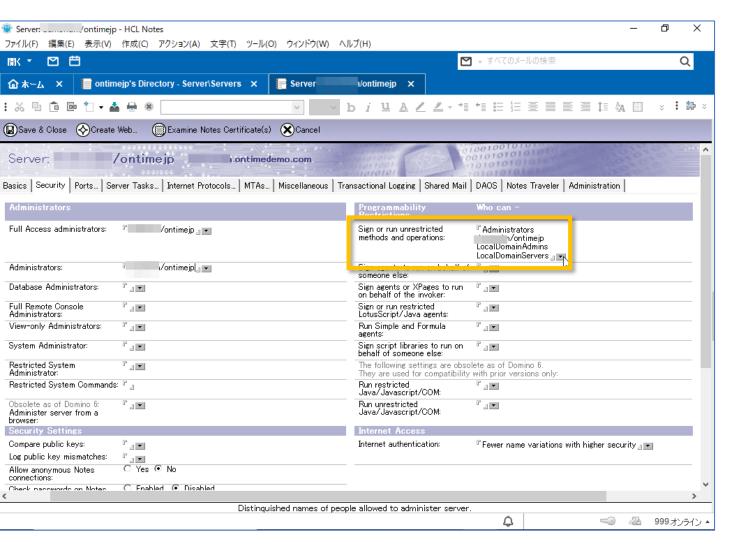


- OnTimeは同期対象のユーザーや会 議室、リソースをまとめたグループ文書 の作成を推薦しています
- ご利用になるユーザーなどの追加削除 はグループ文書を編集することで OnTime側はメンテナンスフリーに近づ きます
- グループ名は「OnTime Users」で作成します
- この名前は各DBのACL等でも利用されており個別に設定する必要が無くなります



#### OnTime用にサーバー文書を変更 1





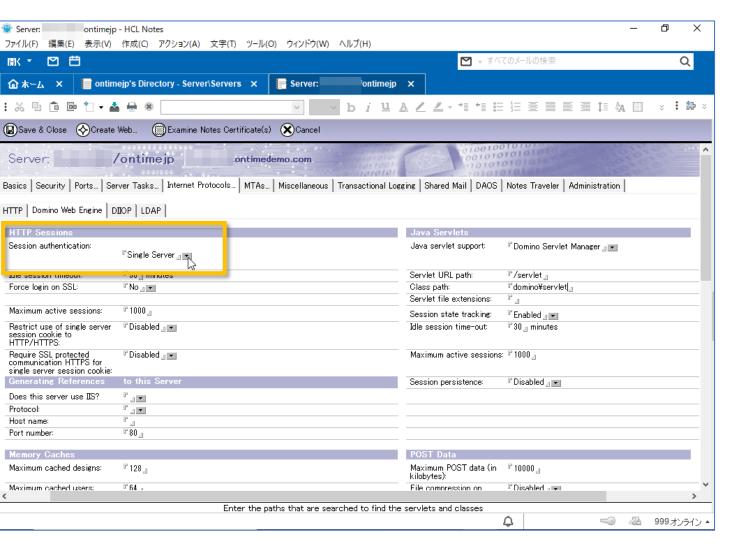
- OnTimeは各種コマンドをサーバー権限で実行します
- 「制限なしで署名または実行」にサーバーを指定します





#### OnTime用にサーバー文書を変更 2





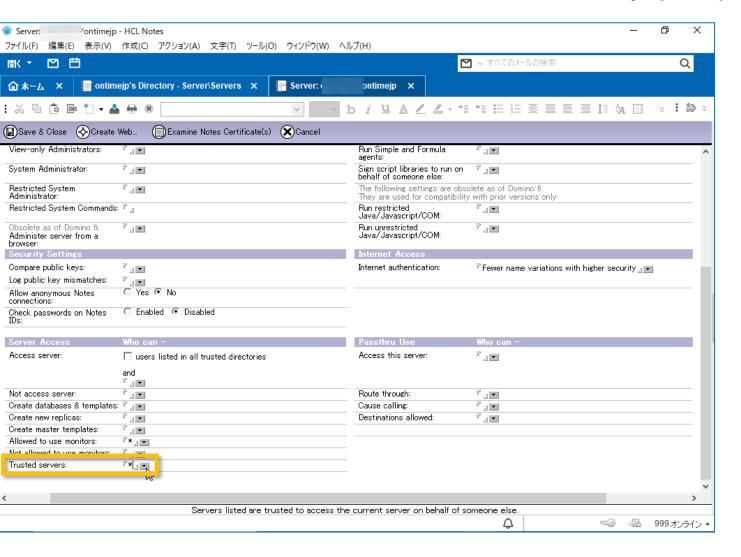
- OnTimeはhttpを利用しますがベーシック認証はサポートしていません
- セッション認証を有効にします





#### メールサーバーのサーバー文書を変更



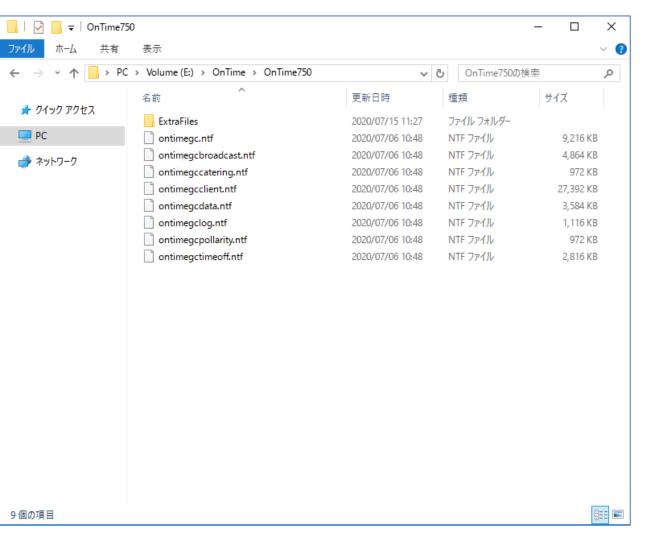


- メールサーバー側のサーバー文書には OnTimeが稼働するサーバーからアクセ スがあります
- OnTimeサーバーが参照するメールサーバーが他にも存在する場合、参照される側のメールサーバーのサーバー文書の「信頼できるサーバー」にOnTimeサーバーを指定してください。



# ダウンロードしたプログラムのzipを展開します



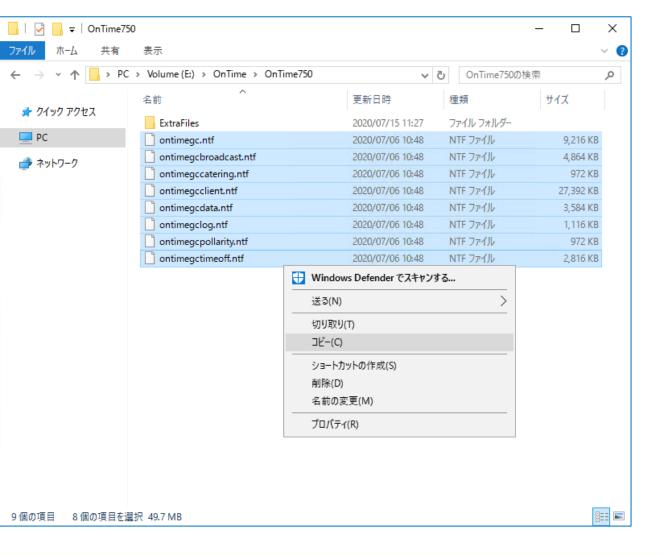


- Zipファイルを展開すると各種テンプレートとExtraFilesフォルダが解凍されます
- ExtraFilesフォルダは通常使いません



# Dominoデータフォルダにテンプレートを配置 1





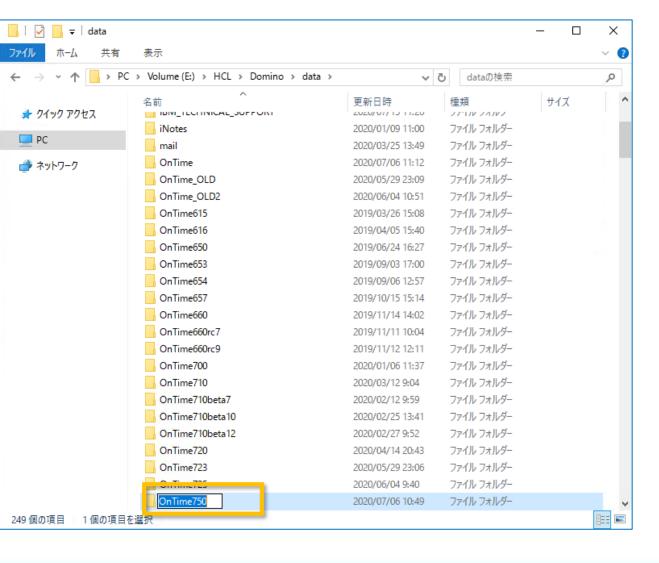
全てのテンプレートファイルを選択してコ ピーします





# Dominoデータフォルダにテンプレートを配置 2



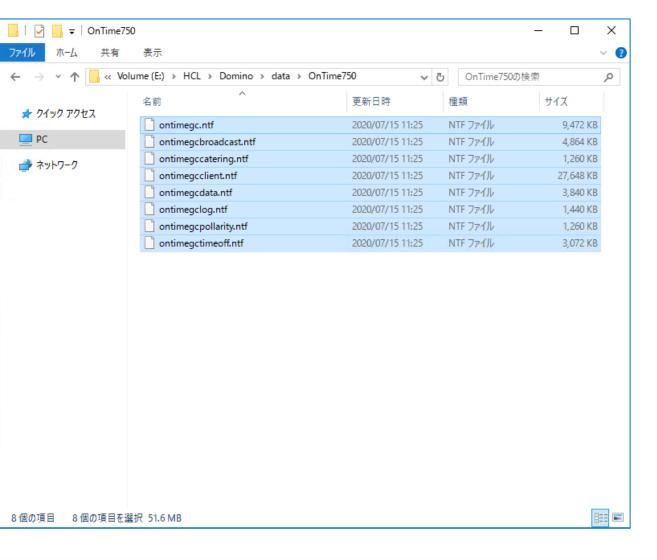


- OnTimeが動作するDominoサーバーのDataフォルダに新しいバージョンのテンプレート用にフォルダを作成します
- 通常は「"OnTime"&バージョン番号」 のように識別できるフォルダ名で大丈 夫です



# Dominoデータフォルダにテンプレートを配置3



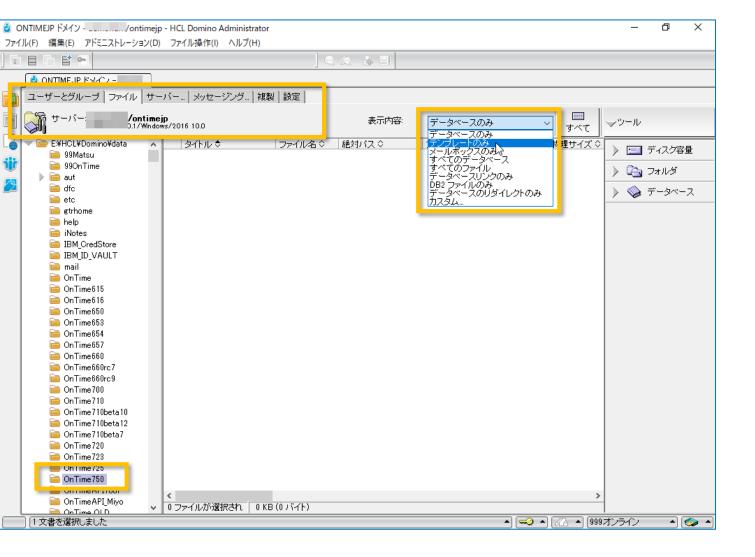


作成したテンプレート用フォルダに先ほ どコピーしたテンプレートファイルをすべて 貼り付けします





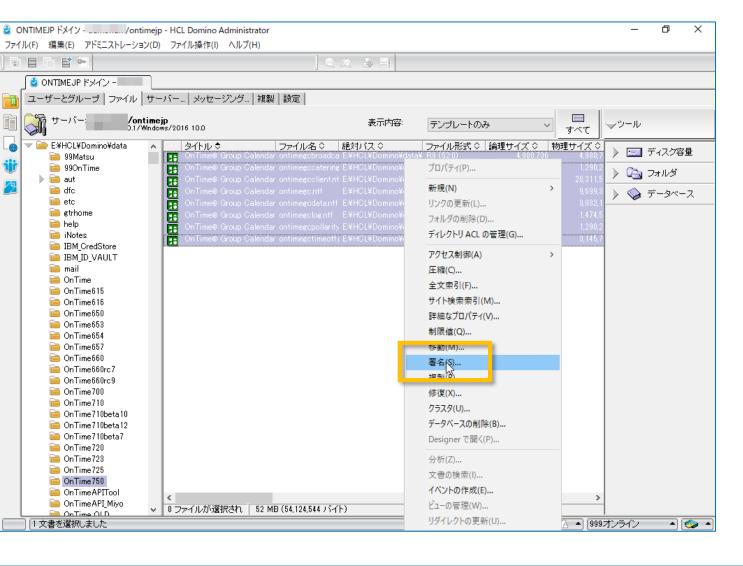




- Domino Administratorを開きます
- OnTimeの動作するサーバーを選択します
- ファイルタブを開きます
- フォルダリストから先ほど作成したテンプレートフォルダを選択します
- フォルダが存在しない場合はF9キーなどで画面をリフレッシュしてください
- 右上の表示内容から「テンプレートの み」を選択します



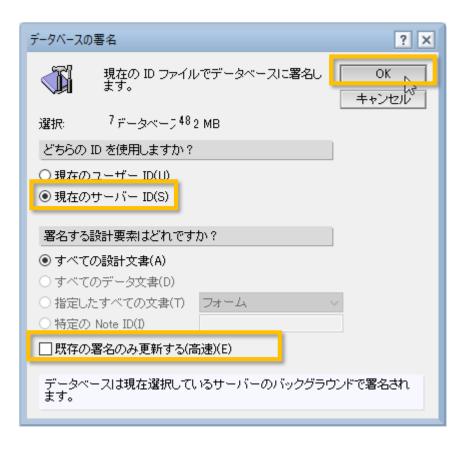




- 表示されたテンプレートを全て選択します
- マウス右ボタンメニューなどから「署名」を選択します



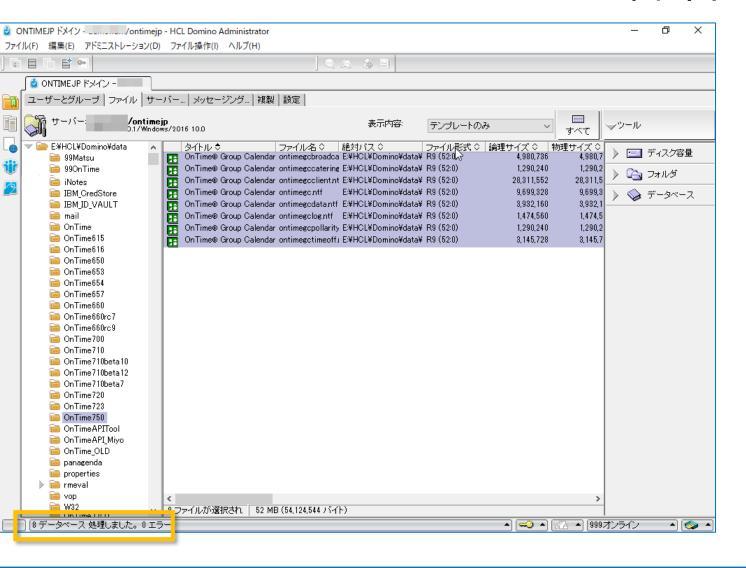




- 署名ダイアログで「現在のサーバーID」 を選択します
- 「既存の署名のみ更新する(高速)」の チェックが外れていることを確認します
- 「OK」を押して実行します



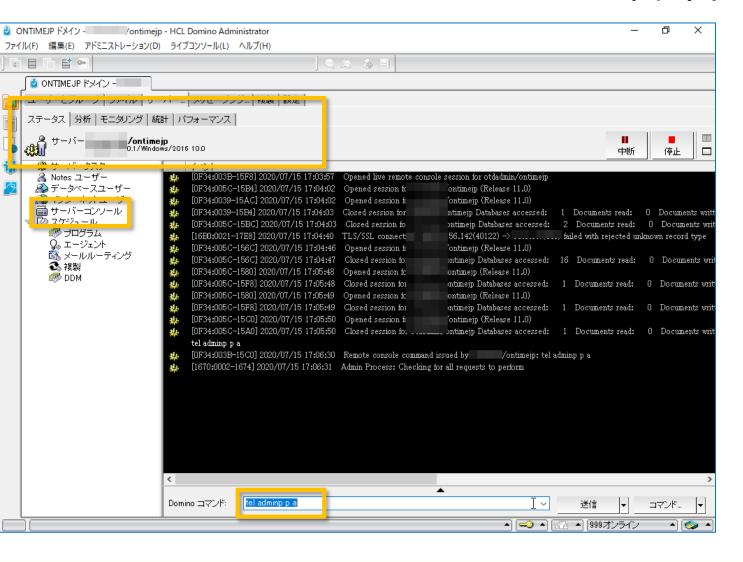




- 画面左下でエラーが0件であることを 確認します
- エラーが発生している場合は何かしらの 設定か作業環境が正常ではありません 作業をストップしてDominoシステム管 理者にご相談ください





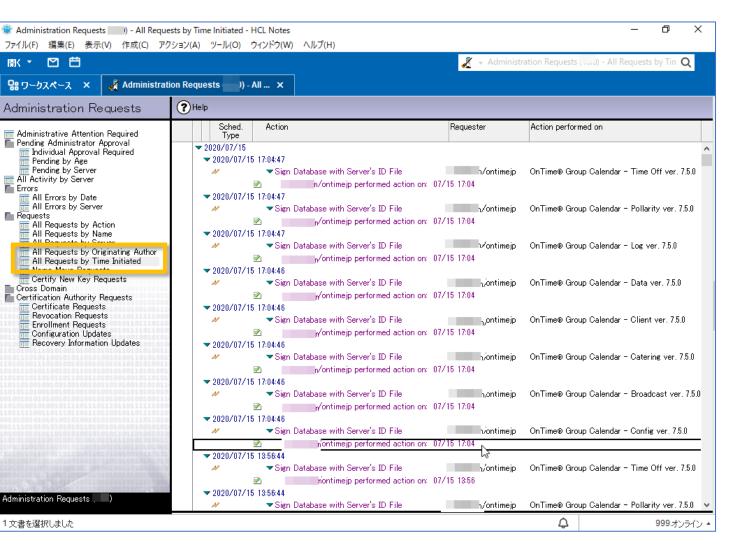


- 画面上部のサーバータブを開きます
- 左サイドで「サーバーコンソール」を選択します
- Dominoコマンドに「tel adminp process all」を実行して署名を実施します







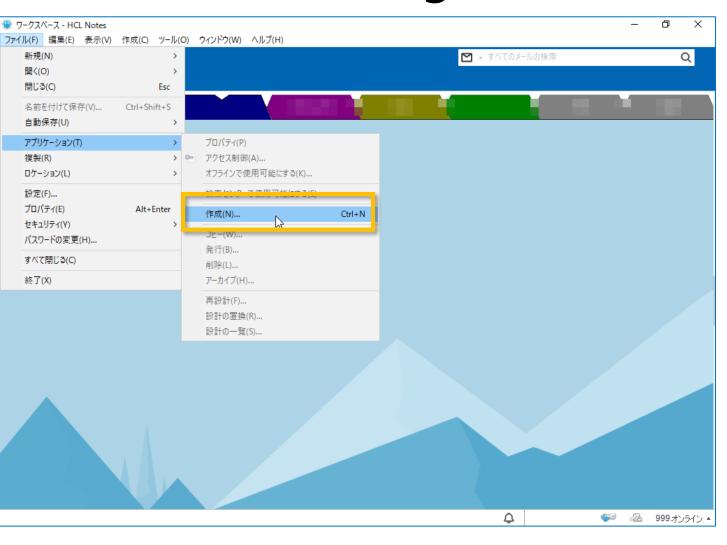


- 実施されたか確認する場合は「システム管理要求」データベースを開いて確認してください
- 署名が失敗している場合は何かしらの 設定か作業環境が正常ではありません 作業をストップしてDominoシステム管 理者にご相談ください



# OnTime ConfigDBを新規作成します 1





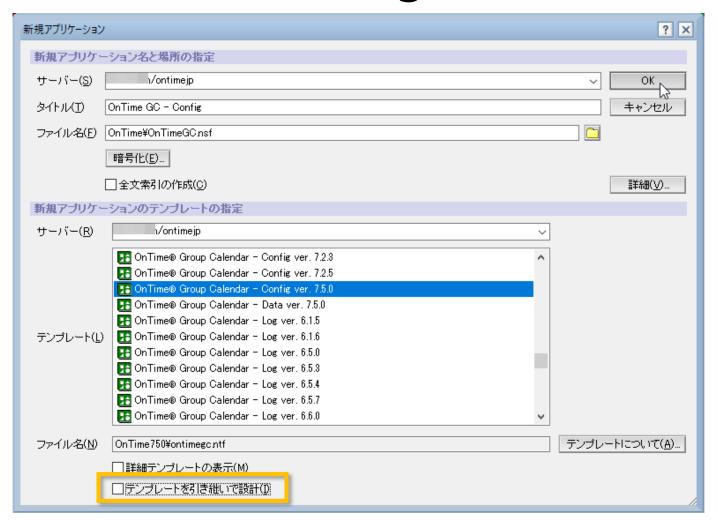
ワークスペースでメニューから「アプリケーション/作成」を選択します





# OnTime ConfigDBを新規作成します 2

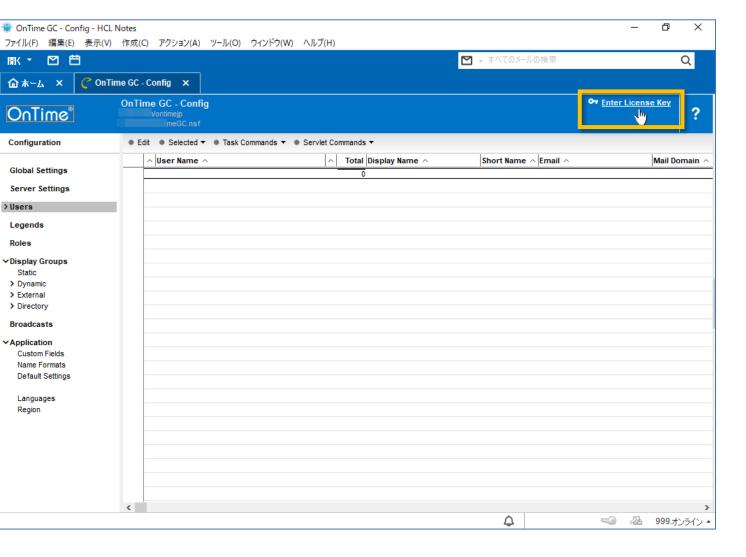




- 左図を参考に各項目に入力します
- サーバー名はOnTimeを実行するサーバーを指定します
- タイトルはいずれでも構いませんが他 DBの関連から推薦は以下です 「OnTime GC - Config」
- ファイル名は以下を指定してください 「OnTime¥OnTimeGC.nsf」
- 「テンプレートを引き継いで設計」の チェックを必ず外してから「OK」をクリック





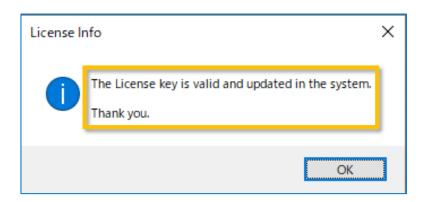


- ConfigDBが問題なく作成できたら左 図のようにDBが開きます
- 先に製品をアクティベーションします (試用版の場合もこちらからトライア ルキーを登録します)
- 右上の「Enter License Key」をクリックします





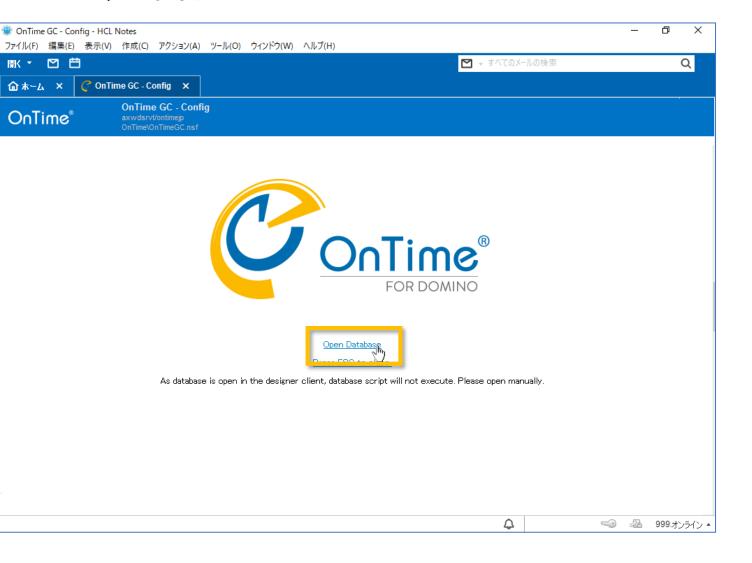




- キー登録画面が開いたら予め取得した キーを貼り付けます
- 改行や空白は無視されます
- 貼り付けが完了したら「OK」ボタンをクリックします
- 正しいキーの場合は右下のダイアログ メッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合はキーが正常ではありません 作業をストップして購入先か shop@ontimesuite.jpにご相談くだ さい



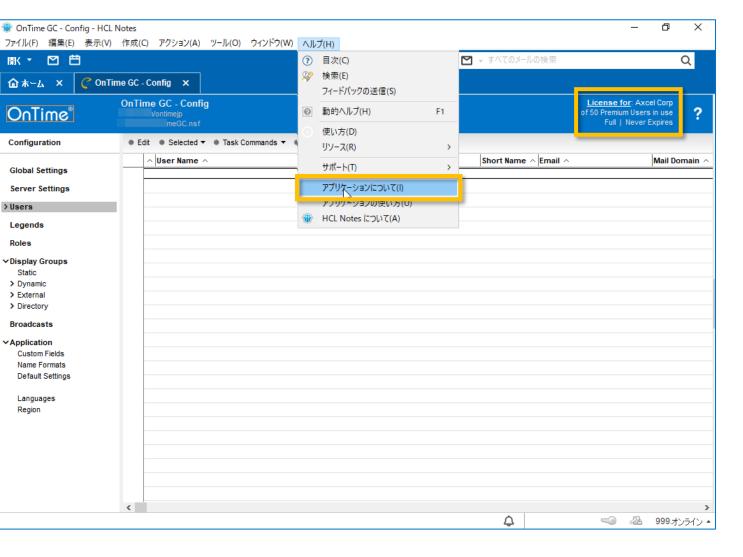




- ダイアログメッセージで「OK」をクリック するとConfigDBは左図の画面に切り 替わります
- 改めて「Open Database」をクリックしてConfigDBを開きます



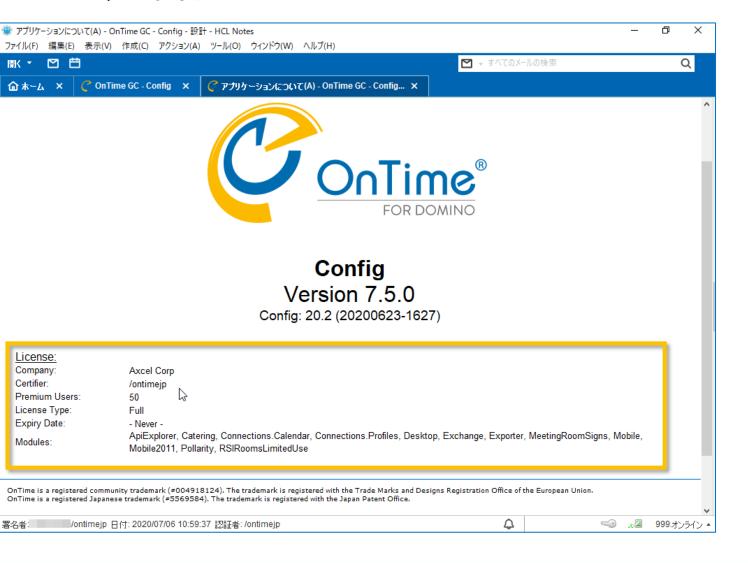




- 画面右上にはライセンスの簡易情報 が表示されるようになります
- 更にライセンスの詳細情報を確認する場合はメニューから「ヘルプ/アプリケーションについて」を開きます







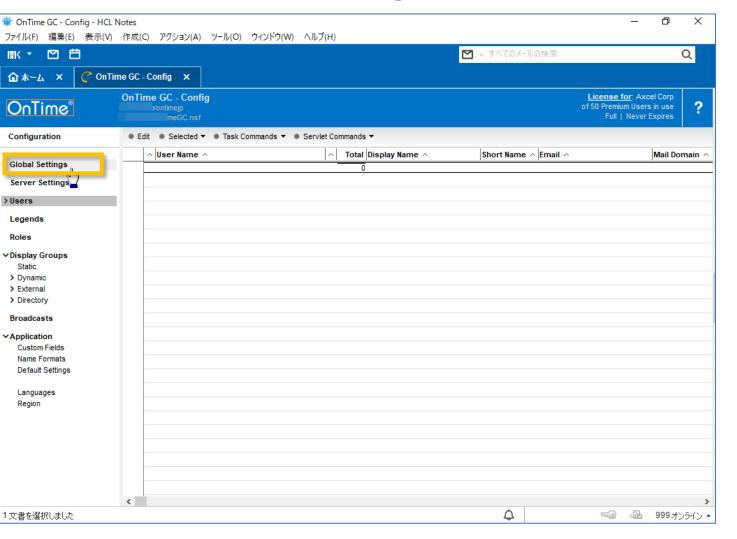
- 画面を下にスクロールしてライセンスの 状況を確認できます
- 確認できるのは以下の通りです
  - 社名
  - Notes認証名
  - 保有数量
  - 使用期限(トライアルなど)
  - 保有するモジュール
- オプション製品を追加購入した場合も こちらにモジュール名として表示されます
- 確認が完了すればページを閉じます





# GlobalSettings文書の初期設定を行う1



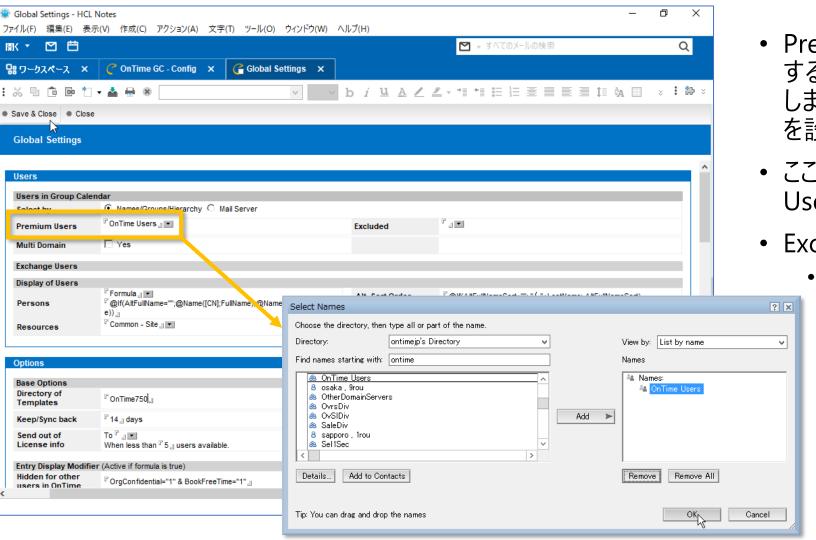


- まず組織の基本設定を行います
- 組織の設定は1つだけなので Notes/Dominoでいうプロフィール文 書で準備されています
- 左サイドメニューから 「GlobalSettings」をクリックして 「GlobalSettings文書」を開いてください



# GlobalSettings文書の初期設定を行う2



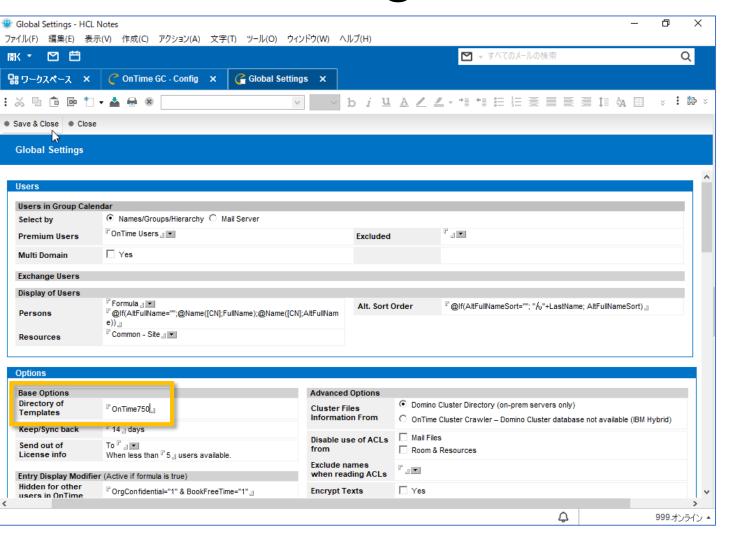


- Premium UsersではOnTimeと同期 するユーザー、会議室やリソースを登録 します。右のExcludedには除外対象 を設定します。
- ここでは事前に作成した「OnTime Users」グループを登録します
- Excludedは除外を意味します
  - 必要であればNotes/Dominoではよく利用する「Terminaters」を登録しておくのも良いでしょう。



# GlobalSettings文書の初期設定を行う3



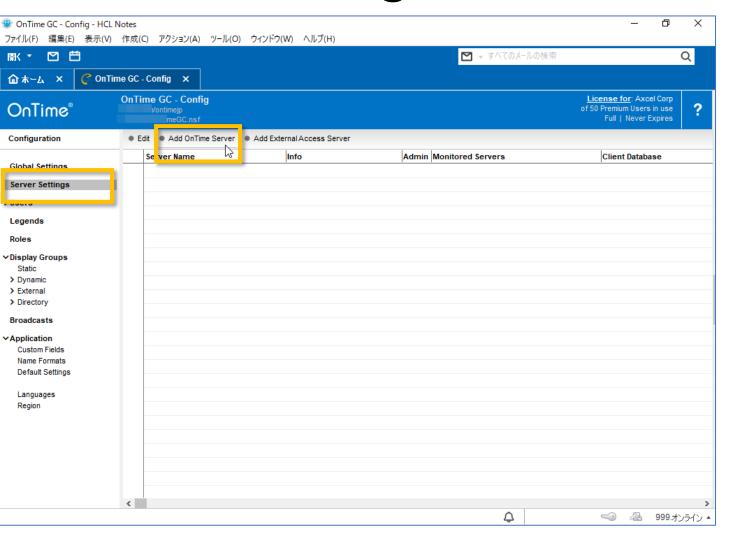


- 「Directory of Templates」に今回テンプレートを配置したフォルダを指定します
  - 後工程でこのフォルダのテンプレートを 使用して関連DBを自動作成します
- 指定後にアクションボタンの「Save & Close」をクリックして文書を保存します





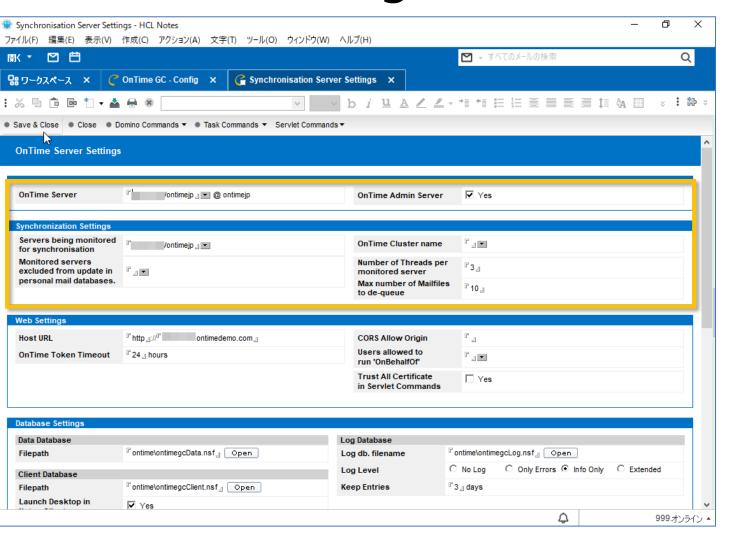




- 次にOnTimeを稼働させるサーバー用 に設定文書を作成します
- OnTimeではServerSettings文書と 呼んでいます
- ServerSettings文書はOnTimeGCタ スクが稼働するサーバー毎に必要です がモニター監視するメールサーバー毎に は必要ありません
- 左サイドメニューから「ServerSettings」をクリックして「ServerSettingsビュー」開いてください
- アクションの「Add OnTime Server」 で新規にServerSettings文書を開き ます



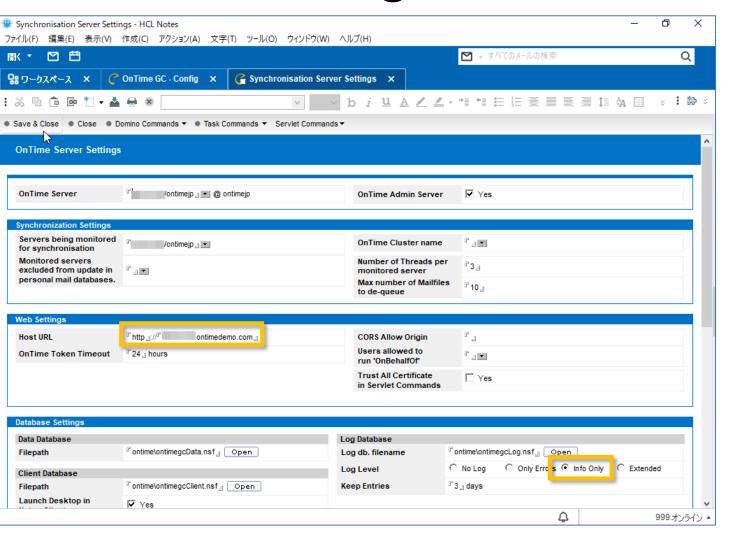




- 「OnTime Server」
  - OnTimeタスクを動作させるサーバーを指定します
  - 現在作業をしているサーバー名を記述します
- 「OnTime Admin Server」
  - OnTimeの管理サーバーの場合はチェックをします
  - 今回は新規になるのでチェックします
- 「Servers being monitored for synchronisation」
  - モニターする先のメールサーバーを複数値で指定
- Number of Threads per monitored server
  - モニターするメールサーバー毎のスレッドの数です
  - デフォルトの"3"のままにします
- Max number of Mailfiles to de-queue
  - 各スレッドが1回あたりに処理するリクエスト数です
  - 全同期メールDBが500以下であれば10を、500 以上の環境だと100をお勧めします





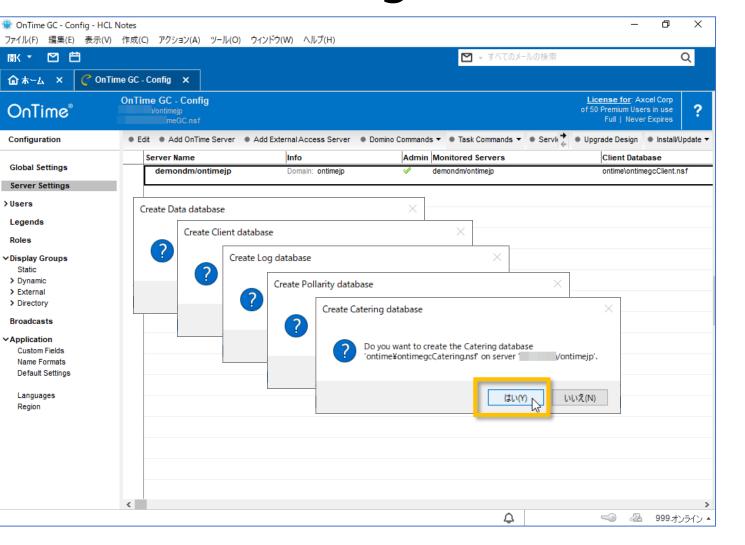


- 「Web Settings/Host URL」に OnTimeを動作させるサーバーの接続 可能なHOST名かIPアドレスを指定します
- REST接続時にこのURLを使用します
- 「Log Database/Log Level」はエラーだけでなく各コマンドのStart/Stopが確認できる「Info Only」を指定します
- 今回は起動に必要な最低限の設定 を行いました
- その他の詳細についてはコンフィギュレーションマニュアルをご参照ください
- アクションボタンの「Save & Close」を クリックして文書を保存します





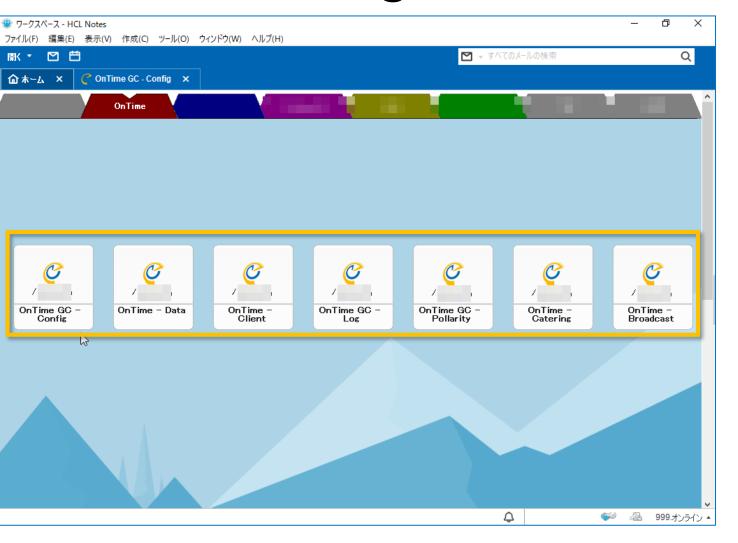




- ServerSettings文書を閉じる際に関連DBがサーバー上で未作成の場合はテンプレートから自動で作成してくれます
- 各DB毎にダイアログメッセージで作成するか確認してくるので「はい」と応えます
- 通常は以下のDBが作成されます
  - データDB
  - クライアントDB
  - ログDB
  - · 日程調整DB \*
  - ケータリングDB \*
    - \*ご購入ライセンスによっては 作成されない場合もあります





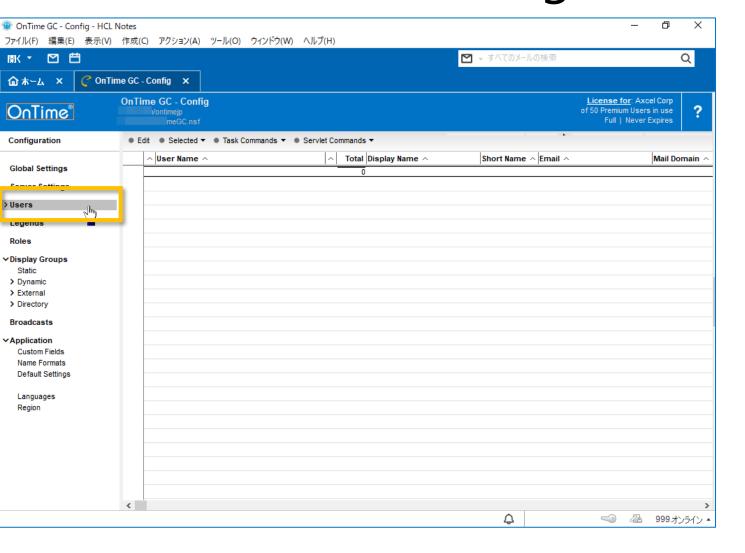


- ワークスペースに戻ります
- ワークスペースには先ほど作成した ConfigDBとその他関連DBが できています
- OnTimeは主にConfigDBとDataDB にユーザー情報やユーザーのカレンダー 情報等を保持します



# メール同期前のConfigDBのUsers文書を確認



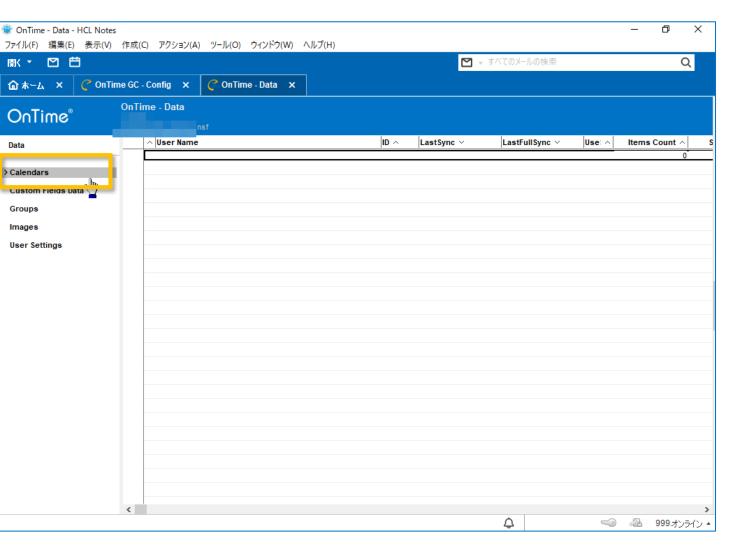


- 「Users」ビューにはGlobalSettings文書で指定した同期対象のユーザー、会議室やリソースが表示されます
- Users文書にはユーザーや会議室などのプロフィール情報やメールDBの場所、アクセス制御リスト(ACL)、ロール権限、会議可能時間帯など固有の情報を保持します
- Domino Directoryから同期対象の 取得処理を行うのは「Admin」というコ マンドですがまだ実行していないので 1 文書も存在しません



# メール同期前のDataDBのCalendars文書を確認



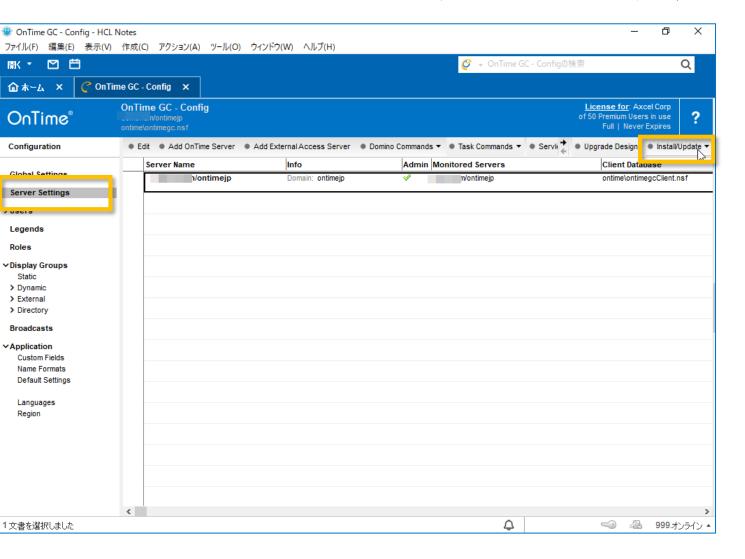


- OnTime DataDBの「Calendars」 ビューにはConfigDBのUsersビューに表示されている同期対象のユーザー、会 議室やリソースそれぞれのUsers文書 と対になるCalendars文書が表示されます
- Calendars文書にはメールDBやリソース予約DBから取得するスケジュールデータだけでなくプリファレンスやリソース文書の情報、アクセス制御リスト(ACL)の情報も保持します
- アクセス制御リストやプリファレンスの情報は最終的に「Admin」コマンドでUsers文書に反映します
- メールDBやリソース予約DBからの同期 処理を行うのは「Sync」「FullSync」と いうコマンドですがまだ実行していない ので1文書も存在しません



#### OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 1



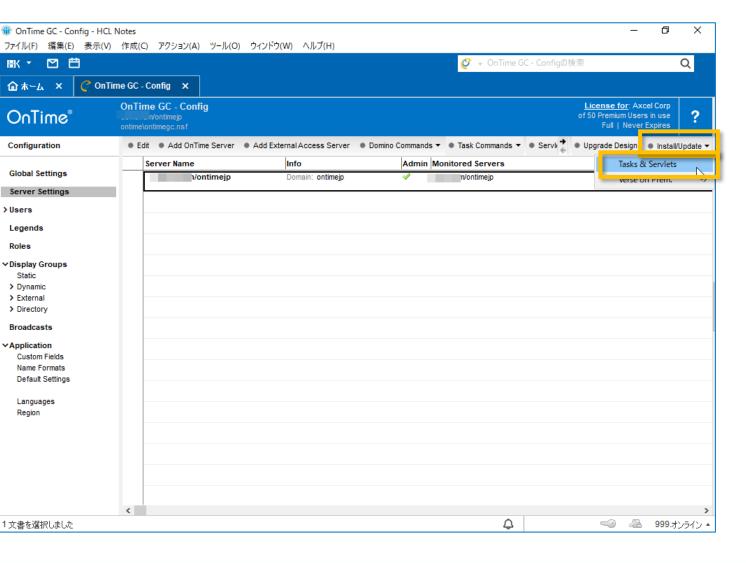


- OnTime Group Calendarは、 OnTimeが動作するDominoサーバーで OnTimeGCタスクを稼働させることでス ケジュールデータを同期します
- OnTimeGCタスクとサーブレットのインストールやアップグレードはConfigDBのServerSettingsビューにあるアクションボタンの右端に表示されるボタンから実行します



#### OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 2



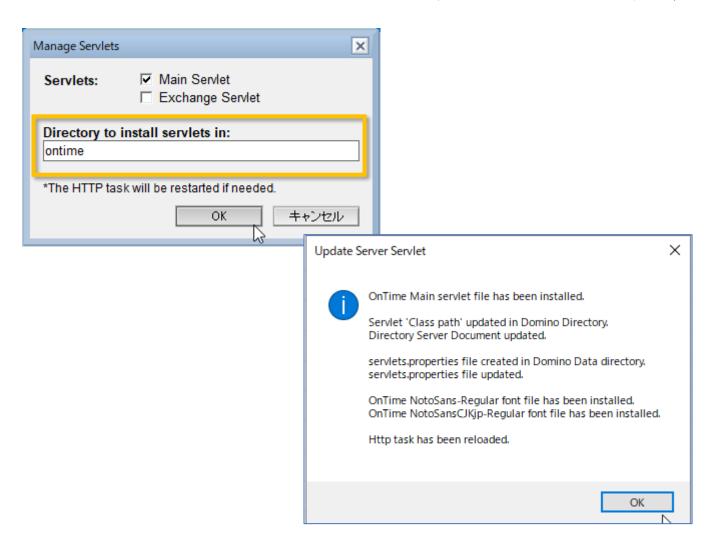


- 「Install/Upgrade」ボタンをクリックして開き「Tasks & Servlets」をクリックして実行します
- OnTimeはConfigDBの設計の中にタ スクとサーブレットの実態ファイルを保 持しています
- そのファイルをOnTimeサーバーの Dominoデータフォルダに配備します
- 故にファイルシステムにアクセスする権限が無い場合はエラーになります



#### OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール3



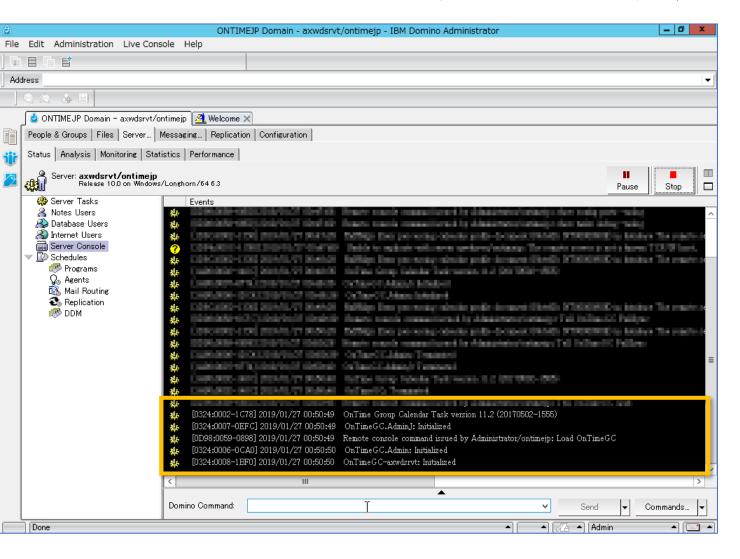


- サーブレットのインストールのためにダイアログが開きます
- 保存先のフォルダなどを聞かれますが 何も変更せずに「OK」を押します
- 正常に実行すると左図のようなダイア ログが表示されます
- 内容は実際に行われた処理を表示しています
  - サーブレットのインストール
  - サーバー文書の編集
  - Servlets.propatiesファイルの編集
  - 利用するフォントのインストール
  - httpタスクの再起動
- エラーメッセージが表示された場合は 管理者にご相談ください



### OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 4





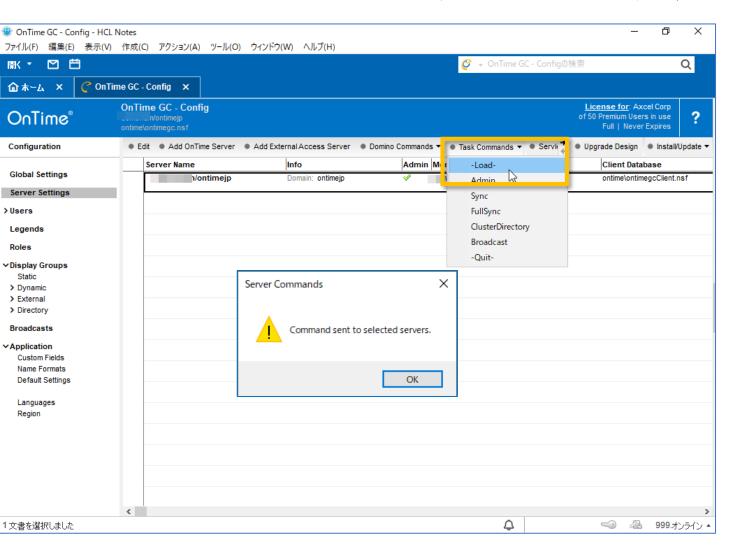
- OnTimeタスクとして行われた処理
  - タスクのインストール
  - notes.iniのServerTasks行に追加





# OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 5





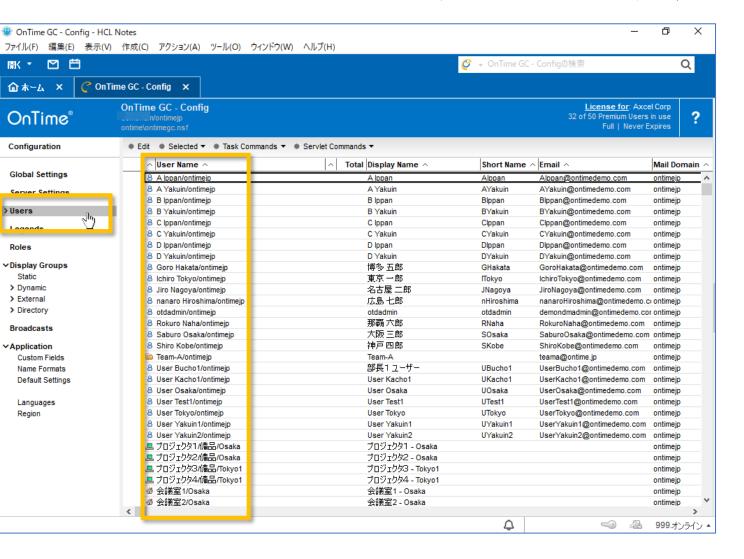
- 「Task Commands」ボタンをクリックして開き「-Load-」をクリックして実行します
- 実行が完了するとコマンド実行完了の ダイアログが表示されます





#### OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 6

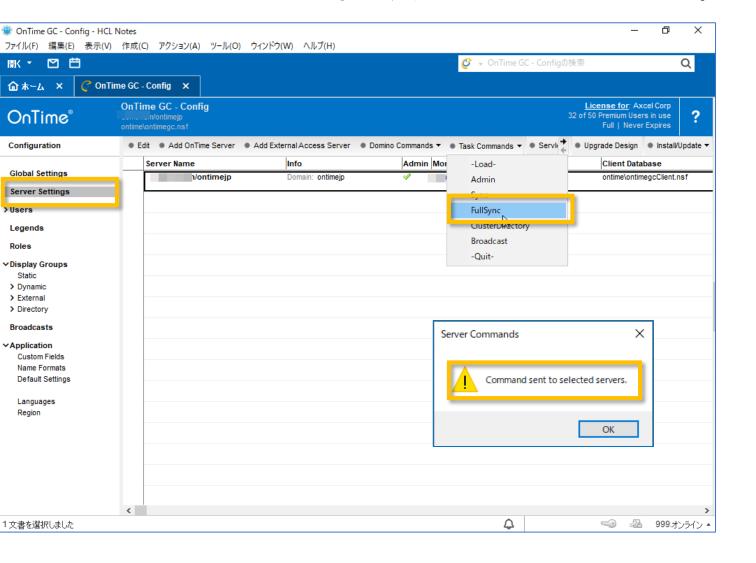




- Domino Directoryから同期対象の 取得処理を行うのは「Admin」というコ マンドであることは前述しています
- 「Admin」コマンドはOnTimeGCタス クを起動時に実行されるように指定さ れているので「Users」ビューを見ると同 期対象が文書として生成されているこ とが確認できます



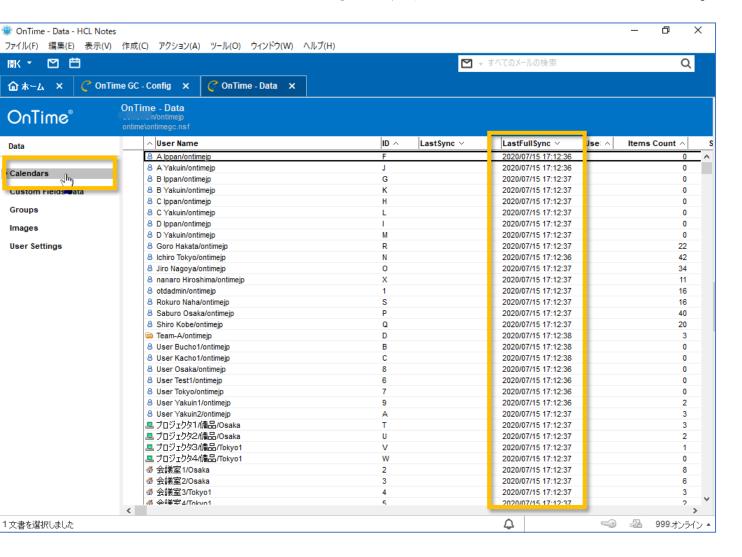




- Users文書が作成されたところで、 初回のスケジュール同期を実行します
- ServerSettingsビューで ServerSettings文書が選択された状態からアクションボタンの「Task Commands/FullSync」を実行します
- 正しく実行できた場合は右下のダイア ログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合は、 作業者がサーバーに対して十分な権限 があるか確認してください
- なお「FullSync」コマンドは通常バージョンアップと凡例の変更を行った時だけ実施します





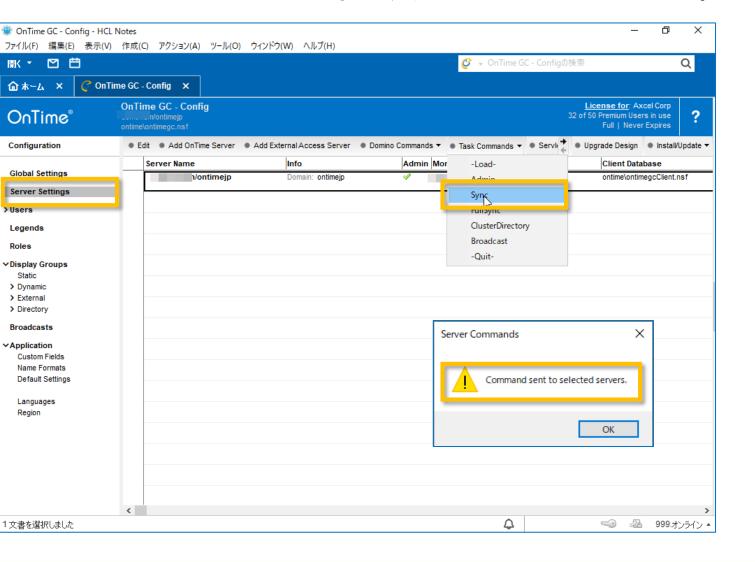


 FullSyncの結果は OnTime DataDB「Calendars」ビュー を見ると同期対象が文書として生成されて且つFullSyncの最終更新日時が 確認できます





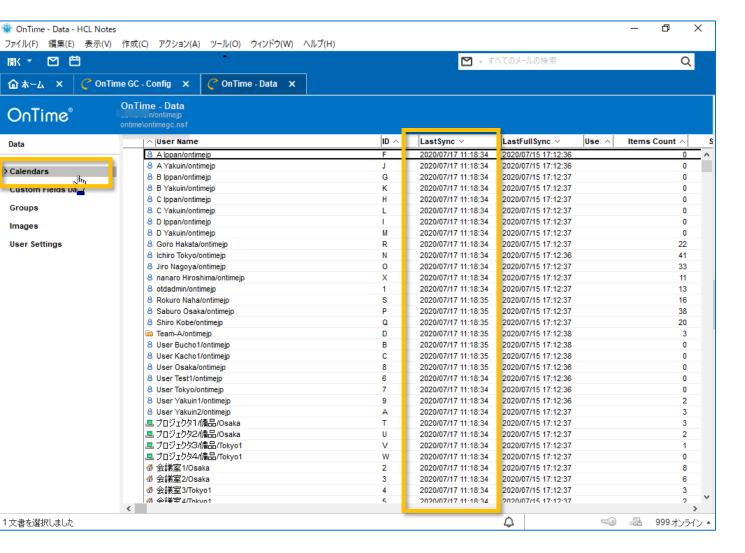




- ServerSettingsビューで ServerSettings文書が選択された状態からアクションボタンの「Task Commands/Sync」を実行します
- 正しく実行できた場合は右下のダイア ログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合は、 作業者がサーバーに対して十分な権限 があるか確認してください
- なお「Sync」コマンドはユーザーが更新 したメールDBのプロファイルをすぐに反 映したい時以外は実行しません
- OnTimeは常にリアルタイムにSyncを 行っています





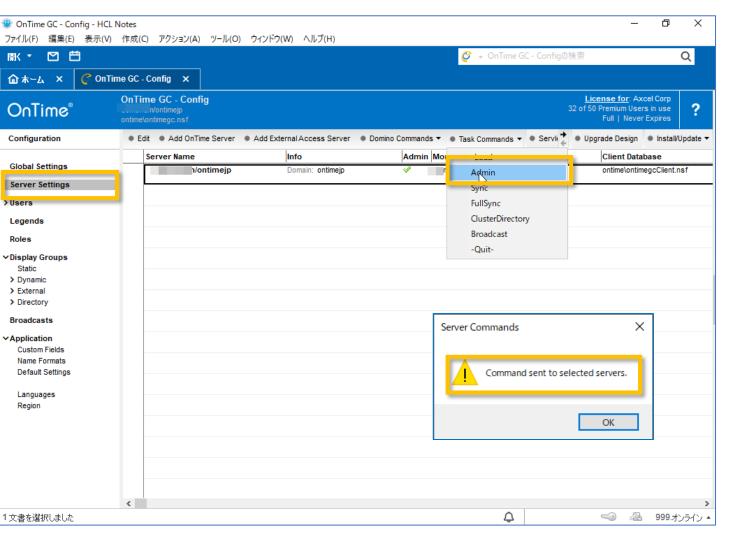


Syncの結果は
 OnTime DataDB「Calendars」ビュー
を見ると同期対象のSyncの最終更
新日時が確認できます





## 「Admin」コマンドの再実行



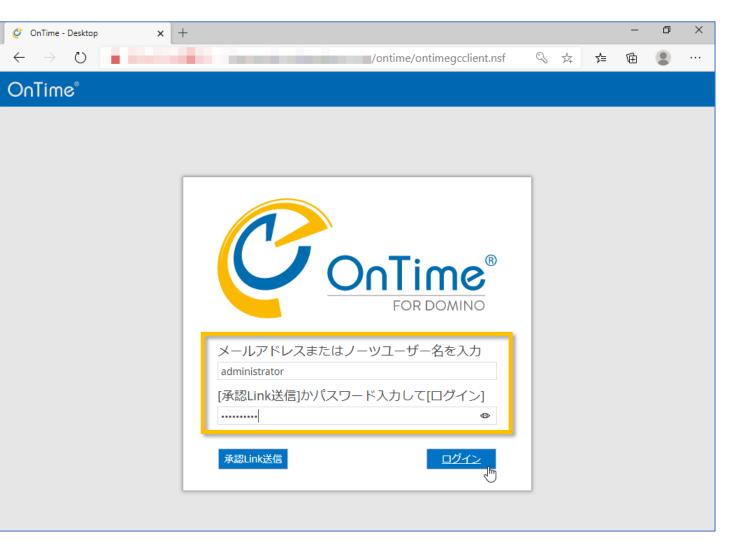


- 最後にSync系コマンドで取得した情報をCalendars文書からUsers文書に 反映させます
- ServerSettingsビューで ServerSettings文書が選択された状態からアクションボタンの「Task Commands/Admin」を実行します
- 正しく実行できた場合は右下のダイア ログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合は、 作業者がサーバーに対して十分な権限 があるか確認してください



# ブラウザからOnTimeクライアントを起動1



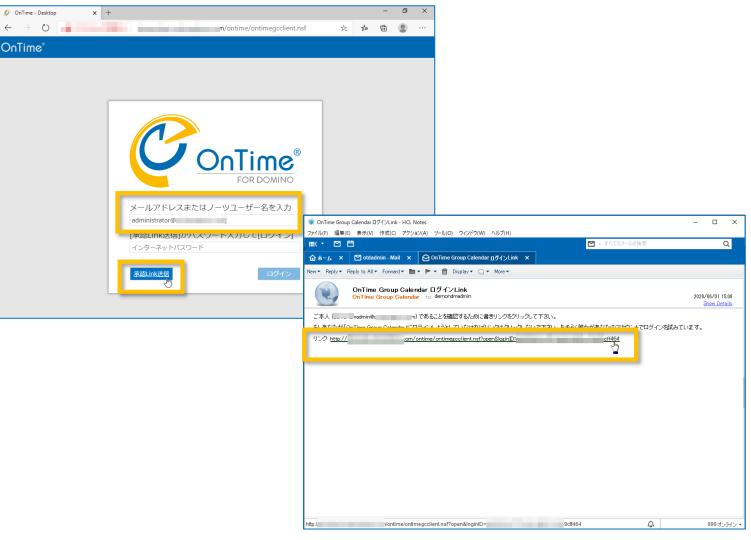


- それではOnTimeが正常稼働しているか クライアントを起動して確認します
- ブラウザからOnTimeが稼働する Dominoサーバーに接続します
  - http://HOSTNAME/OnTime/OnTimeGCClient.nsf
- OnTimeForDominoのセッションログイン画面が出てきたらOnTimeに同期しているユーザー名とインターネットパスワードでログインします
- セッションログイン画面以外のページ表示の場合はそのユーザーがインターネットからDominoにログインできない可能性があります
- Domino運用管理者に相談してください
- インターネットパスワードを利用しないログインも可能です。(次ページ)



# ブラウザからOnTimeクライアントを起動2



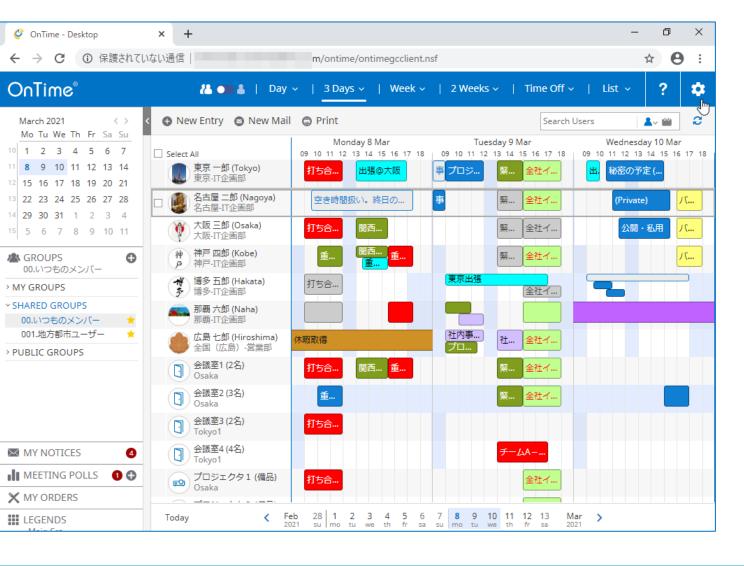


- インターネットパスワードを利用せずに OnTimeへログインできます。
- OnTimeForDominoのログイン画面表示後、ユーザーのメールアドレスを入力し「承認Link送信」ボタンを押します。(ブラウザ画面はそのままにしてください)
- メールボックスを確認するとログイン Linkが本文内に記載されたメールが届いているので、記載されたリンクをクリックします。
- リンクのクリック後、開いたままにしておいたブラウザに戻るとOnTime画面が表示されます。



## ブラウザからOnTimeクライアントを起動3





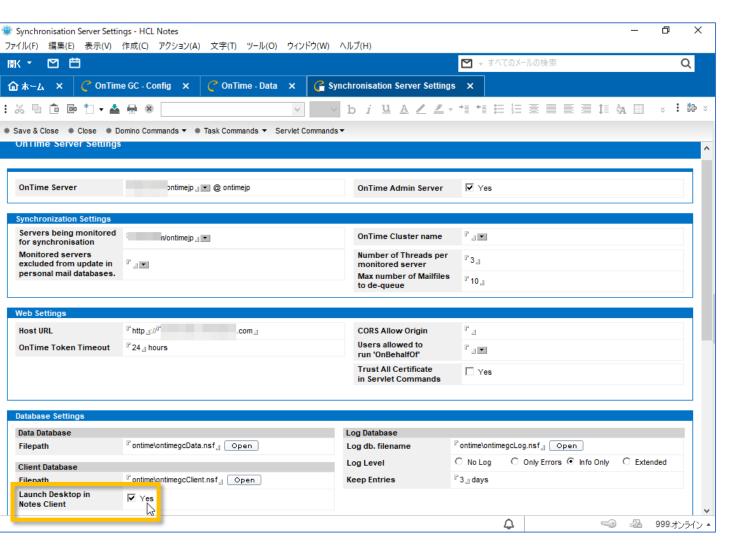
- 左図のようなOnTimeの画面が表示されればご利用いただけます
- 各種設定を行っていないのでデフォルトの英語画面で表示されます
- 既にノーツのカレンダーをご利用の場合 は予定が表示されているかも知れませんね





#### NotesからOnTimeクライアントを起動1





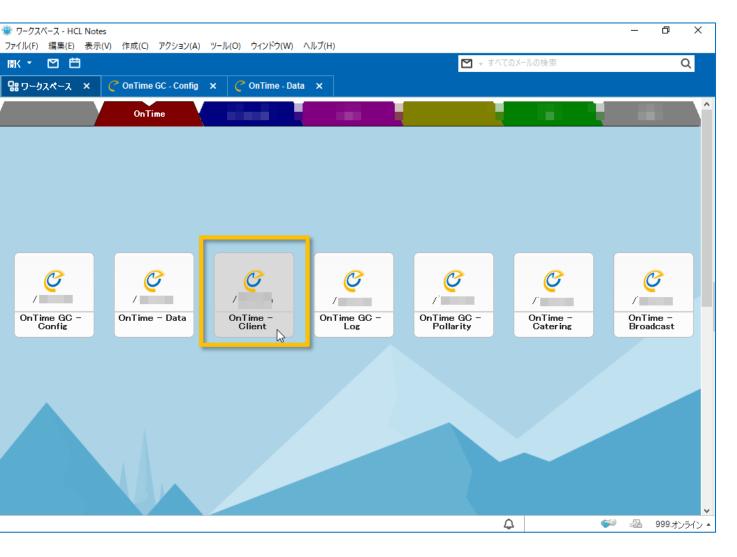
- 次にNotesクライアントから起動するテストを行います
- Notesクライアントから起動する際はア プリケーションの1つとして振る舞うので セッションログインなどの手順を必要と しません
- ServerSettings文書を開き左図の通り「Launch Desktop in Notes Client」にチェックをつけて保存します





#### NotesからOnTimeクライアントを起動 2



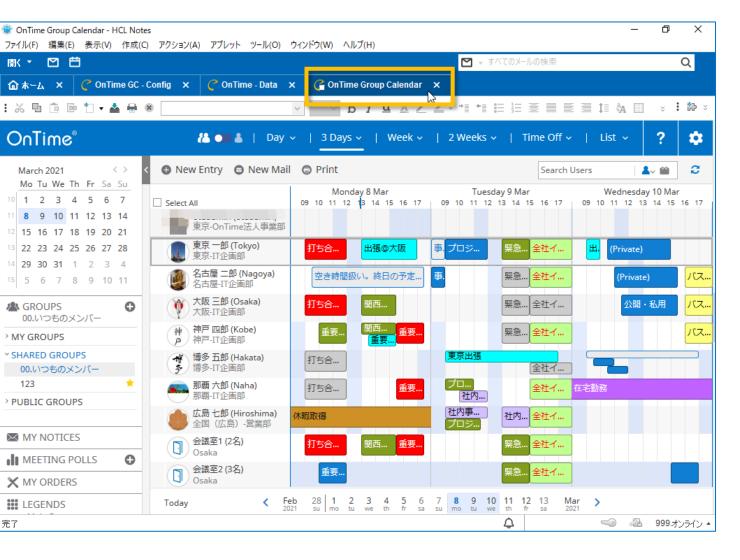


 OnTimeで同期をしているユーザーの Notesクライアントのワークスペースから 「OnTime GC - Client」をNotesのそ の他のアプリケーションのようにダブルク リックで起動します



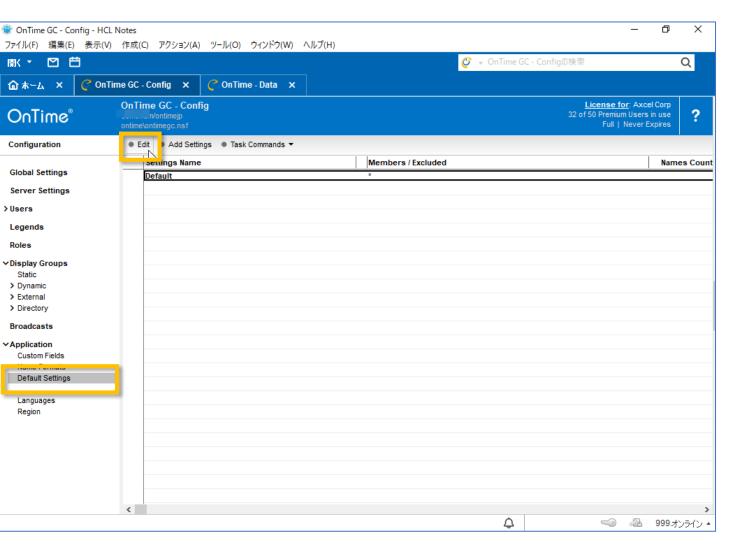
#### NotesからOnTimeクライアントを起動3





- Notes内でOnTimeが起動されます
- 特徴としては以下の通り
  - URLバーが表示されません
  - セッションログインを必要としません
- Notesからの利用とブラウザでの利用 で機能に差はありません

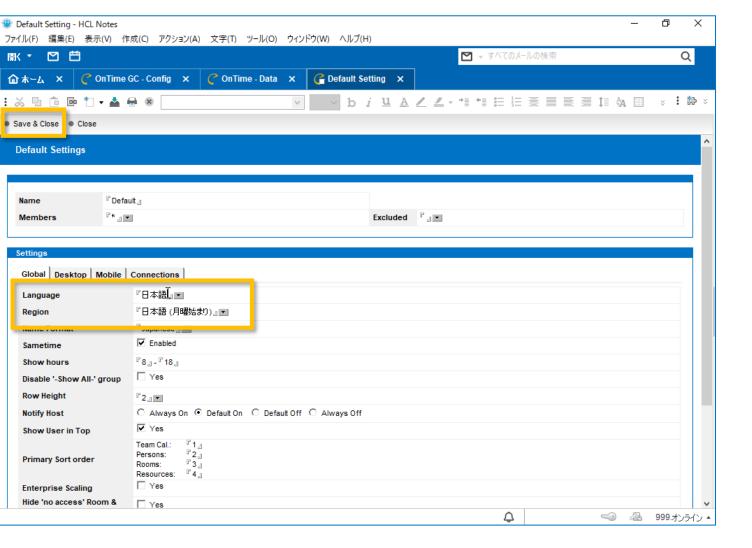






- ここからはコンフィギュレーションマニュアルと重複します
- OnTimeはデフォルト設定を複数管理 できます
- 日本語向け、外国語向け、ブロードバンド拠点向け、ナローバンド拠点向けなど様々なグループ毎に準備できます
- 今回はワイルドカードを使用したデフォルト設定を日本語向けに編集します
- 「Application/Default Settings」 ビューを表示すると既にデフォルト用の文 書が表示されています
- アクションボタンの「Edit」から編集します



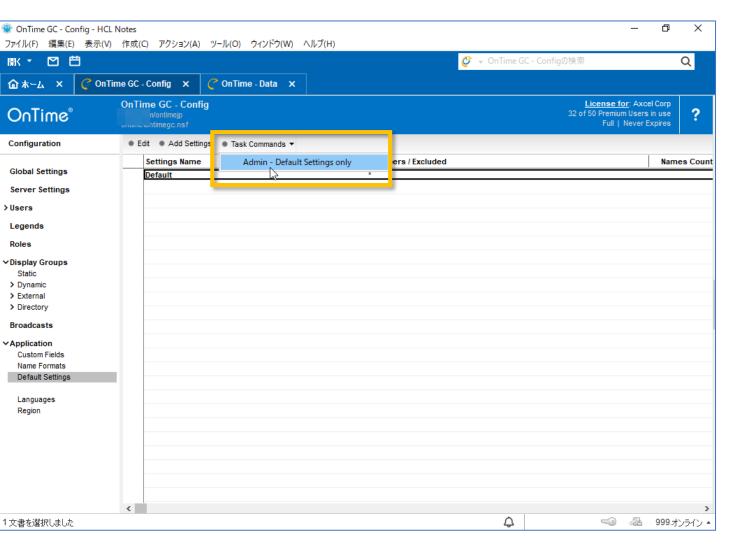




- LanguageとRegionをそれぞれ 「日本語」「日本語」に変更します (Regionで「日曜始まり」も選択できます)
- Name Formatは各ユーザーの名前表示などを指定できる機能ですが、まだ準備ができていませんのでそのままです
- その他の項目についても変更する場合は コンフィギュレーションマニュアルを参照の上 ご準備ください
- 変更完了後「Save & Close」ボタンで 閉じます





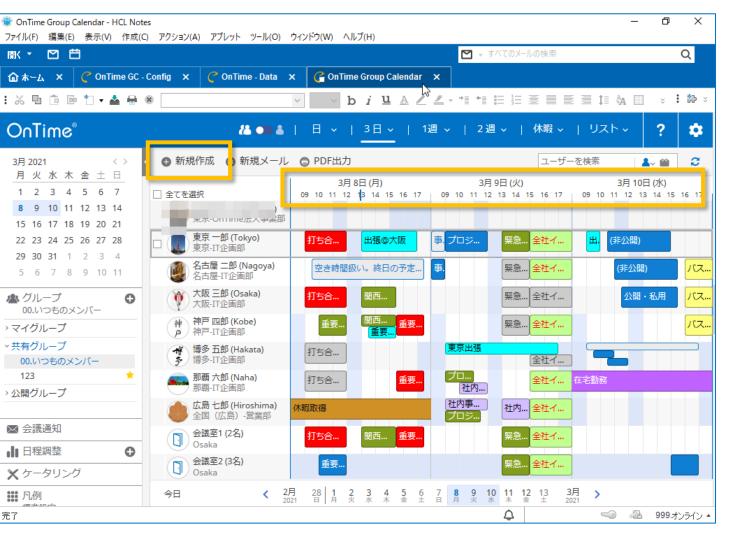




 保存が完了したら「Admin」コマンドを 実行しますが、同じビュー上にサブコマ ンドとして「Task Commands/Admin – Default Settings only」が準備され ているのでそのボタンを実行します



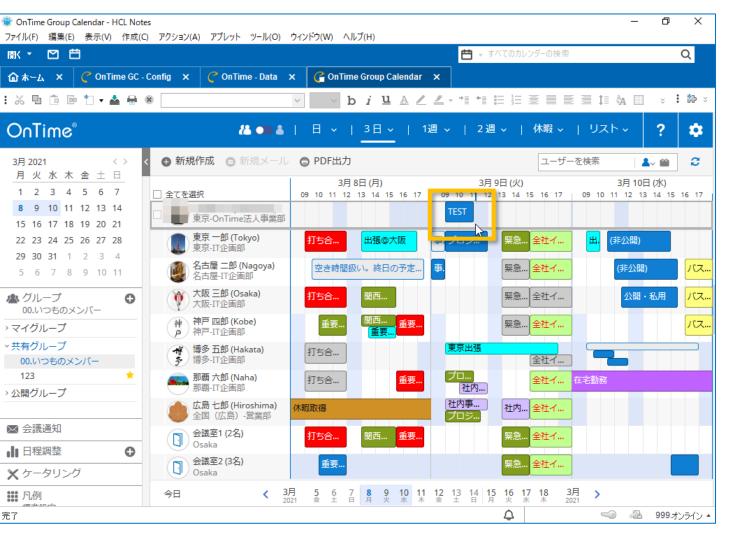






• 再度OnTimeクライアントを開き直すと 項目などが日本語になり、日付書式 も日本の書式になっています

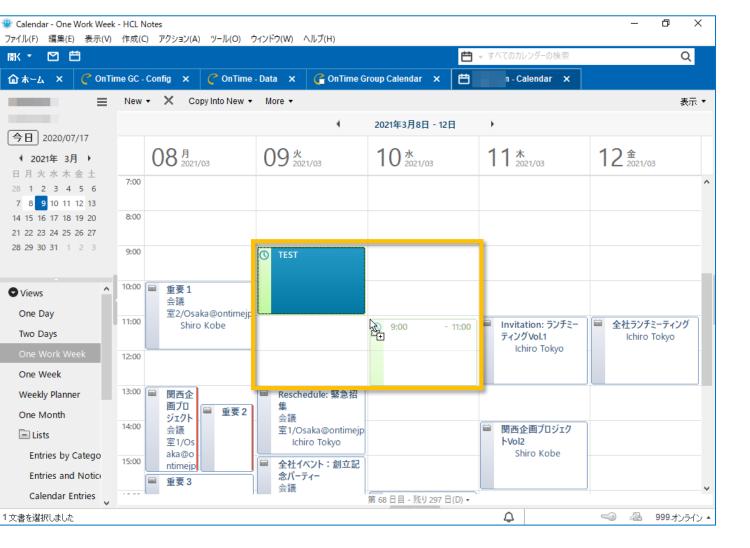






- 編集可能な新規「予定」を作成します
- OnTimeクライアントでは画面のご自 身の予定表示箇所でドラッグすれば 作成できます
- 既に表示されている予定があればその 予定でも構いません

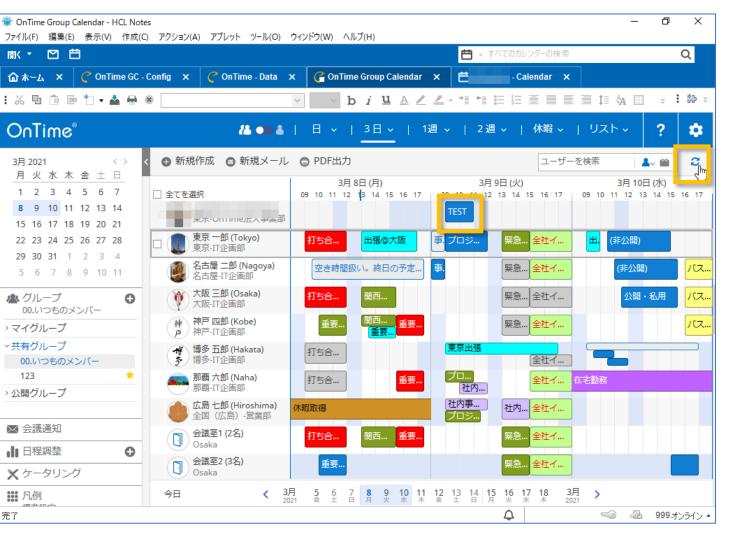






- Notesのカレンダー画面を開きます
- OnTimeはリアルタイムでメールDBのスケジュールデータを同期します
- Notesのカレンダーで予定を移動させます
- もしNotesのカレンダーに目的の予定 が表示されていない場合は画面の「更 新」を実行します

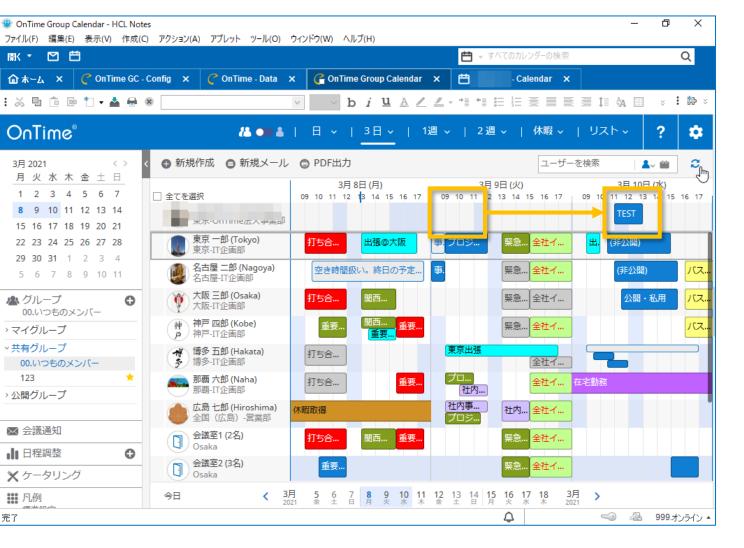






- 予定を移動させたら再びOnTimeクライアントに画面を切り替えます
- 画面右上に「ビューの更新」ボタンがあるのでクリックします







• 予定が新しい日時に変更されていることが確認できれば作業は終了です



### 引き続き各種設定も行ってください



- OnTimeは皆さまの組織のご要望に できるだけ添えるよう様々な機能がご ざいます
- 他の詳細設定はコンフィギュレーションマニュアルに基づいて行ってください
- 新バージョン毎の主な新しい機能はリ リースノートに記載しています

